

4 教科目の履修方法

1 総合子ども学科 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	児童家庭福祉		2
	社会福祉	2	
	社会的養護		2
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの食と栄養	2	
	保育内容総論		1
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	教育課程総論	2	
	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習基礎技能Ⅰ	1	
	実習基礎技能Ⅱ		1
	キャリアデザインⅠ	1	
選 択 科 目	国語		1
	保育表現技術・声楽Ⅰ		1
	保育に生かすやさしい手芸		1
	クラスルーム／併修学習Ⅰ a・Ⅰ b	1	1
合 計 単 位 数		22	18
		40	

科 目	英語コミュニケーション	講 師	玉置 充佳
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌、絵本、ゲームを使ってレッスンが出来るように ・簡単な英作文と英会話が出来るように 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で自己紹介 歌 英会話 2. 数 歌 英会話 3. 曜日・月 歌 英会話 4. 色 歌 英会話 5. ABC Phonics 歌 英会話 6. I like…動物 歌 英会話 7. I want…果物 歌 英会話 8. I have…名詞 歌 英作文 9. I can…動詞 歌 英作文 10. Halloween 歌 英作文 11. Christmas 歌 英作文 12. Valentine's 歌 英作文 13. Chants 歌 英作文 14. Chants 歌 英作文 15. Test 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……適宜、プリント配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度・ノート提出・発表		

科 目	体育 I	講 師	入江 由香子
授業目標	<p>子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階、身体の仕組み、学習意欲、コミュニケーション力などを講義で学び、実際に子どもに対して指導を行う心構えを身につけることを目標とする。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など） 2. 健康の定義、体力について 3. 日本人の健康状態について（子どもから高齢者まで） 4. 体力テスト、形態測定について 5. 新体力テスト（長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）、ストレッチ 6. 新体力テスト（長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）、ストレッチ 7. 体力テストの振り返り 肥満、生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイルについて 8. レポートの作成の諸注意と課題作成（短大レポート）① 9. 効果的な運動法（有酸素運動と無酸素運動） 10. 子どもの食事・食育について 11. 課題作成（短大レポート）② 12. 課題作成（短大レポート）③ 13. フィットネスプログラム 14. まとめと定期試験について 15. 定期試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……①『イラスト健康増進科学概論』東京教学社、②『健康生活と運動』小笠原正志編、株式会社エスアイエス 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	実技20%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、レポート課題20%、定期試験60%による総合評価 *実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。		

科 目	体育Ⅱ	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健やかにのびのびと子どもを育てていくためには、支援者も健康でいなければならない点を重視し、個人個人の健康を見直し、良い生活習慣を身につけるための知識と方法を身につけていくことを目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など） 2. 身体の仕組み（骨、筋肉の働き） 3. 身体の仕組み（内臓の働き） 4. 大人と子どもの身体の仕組みの違い 5. 健康度とストレスチェックについて 6. 効果的な運動方法と形態測定 7. ストレッチ体操とエアロビックダンス 8. ヨガ 9. ストレッチとコアトレーニング 10. レポートの作成の諸注意と課題作成（短大レポート）① 11. サーキットトレーニング 12. 課題作成（短大レポート）② 13. 課題作成（短大レポート）③ 14. まとめと定期試験について 15. 定期試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……①『イラスト健康増進科学概論』東京教学社、②『健康生活と運動』小笠原正志編、株式会社エスアイエス 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	実技20%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、レポート課題20%、定期試験60%による総合評価 *実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。		

科 目	保育原理	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。 ・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。 ・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・ 保育の現状と今後の課題について理解する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育原理の授業の進め方 保育士の一日を知る 2. 子どもを理解する～(1) 事例を通して～ 3. 子どもを理解する～(2) 絵本の読み聞かせを通して～ 4. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(1) 5. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(2) 6. 保育所の目的と役割 7. 保育の方法と内容 8. 保育における環境 9. 子どもの最善の利益を考慮する保育 10. 保育の計画及び評価(1) 指導計画の作成と展開 11. 保育の計画及び評価(2) 保育の記録と評価 12. 保育の思想と子ども観(1) 13. 保育の思想と子ども観(2) 14. 障がいをもつ子どもの理解と対応 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園・保育要領』 参考書 ……授業内で配布したプリントはまとめておく		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視し、定期試験、提出プリント等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	安部 高太郎
授業目標	授業のなかで（主として教育哲学的な観点から）提示される「教育」ならびに「保育」と名指される諸事象に関する知見をもとに、自分の考えを〈原理的〉な視点から深め、それを表現する。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入：「教育原理」を〈学ぶ〉とはいかなることか？ 2. 大阪芸術大学短期大学部通信教育部併修りレポートについての解説① 3. 大阪芸術大学短期大学部通信教育部併修りレポートについての解説② 4. 「遺伝」か「学習」か？：「教育」と呼ばれる営みは人間が成長することとどう関わるか？ 5. グループ発表に向けて：グループ分け及び発表テーマ決め・詳細説明・諸注意など【*必ず出席してほしい】 6. 「学校」の成り立ちとその変遷：「学校」の存在意義はどこにある（あった）のか？ 7. 【グループごと】グループ発表準備①：発表に向けての資料収集 8. 【グループごと】グループ発表準備②：資料収集及び整理 9. グループ発表進捗状況確認とアドバイス①：発表資料作り 10. グループ発表進捗状況確認とアドバイス②：発表資料完成 11. 子どもの権利条約について：教育を受けるといふ「当たり前のこと」は当たり前のことか？ 12. グループ発表① 13. グループ発表② 14. グループ発表③ 15. まとめに代えて：再び「教育原理」が活きる瞬間は本当にあるのか？（もし、あるとすれば…） 		
教科書及び参考書	教科書 ……【大阪芸大指定テキスト】田嶋一 他編（2016）『やさしい教育原理（第3版）』有斐閣（有斐閣アルマ） 参考書 ……適宜、授業にて提示する。		
評価の方法	原則として、授業への参加状況ならびに小レポート、さらにグループ発表などから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。		

科 目	児童家庭福祉	講 師	渡邊 眞理
授業目標	「児童福祉」とは子どもが幸せになるために必要な取り組み全てを指す言葉である。本講義では、その取り組みを支える法律や具体的な児童福祉制度を理解することを目的とする。また現在の子どもを取り巻く環境についても学んでいく。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの権利(1) 3. 子どもの権利(2) 4. 児童家庭福祉の法体系 5. 児童福祉の行政・実施機関(1) 6. 児童福祉の行政・実施機関(2) 7. 児童福祉施設(1) 8. 児童福祉施設(2) 9. ひとり親家庭 10. 里親制度について 11. 児童の健全育成 12. 障害のある子ども 13. 保護を要する子ども 14. 母子保健について 15. 保育サービス 		
教科書及び参考書	教科書 ……新保育士養成講座第3巻『児童家庭福祉』全国社会福祉協議会 授業時に適宜資料を配付する 参考書 ……特に指定なし		
評価の方法	出席状況、受講態度、小テスト、試験等による総合評価		

科 目	社会福祉	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 ・社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について理解する。 ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 ・社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 ・社会福祉の動向と課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の理念と概念 2. 社会福祉の歴史の変遷 3. 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉 4. 児童の人権擁護と社会福祉 5. 家庭支援と社会福祉 6. 社会福祉の制度と法体系 7. 社会福祉行財政と実施機関 8. 社会福祉施設等 9. 社会福祉の専門職・実施者 10. 社会保障及び関連制度の概要 11. 社会福祉における相談援助の意義と原則 12. 社会福祉における相談援助の方法と技術 13. 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 14. 社会福祉の動向と課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育士をめざす人の社会福祉』(株)みらい、『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	社会的養護	講 師	小出 真由美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の歴史的背景から、今日の社会的養護の意義を考える。 ・子どもの権利の理解と「子どもの最善の利益」について考える。 ・社会的養護の制度や仕組みについて理解する。 ・社会的養護を必要とする子どもたちについて理解を深める。 ・社会的養護の現状と課題を理解し、児童福祉施設における保育士の意義と役割を考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の子どもと子育て家庭を取りまく状況 2. 社会的養護の理念と概念 3. 社会的養護の歴史と子ども観の変遷① 4. 社会的養護の歴史と子ども観の変遷② 5. 児童家庭福祉と社会的養護 6. 子どもの権利擁護と社会的養護 7. 社会的養護の制度と実施体系 8. 家庭的養護と施設養護 9. 社会的養護の専門職 10. 施設養護の基本原則 11. 施設養護の実際とソーシャルワーク① 12. 施設養護の実際とソーシャルワーク② 13. 施設養護の実際とソーシャルワーク③ 14. 社会的養護の課題と展望 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『新 保育士養成講座 第5巻 社会的養護』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育の心理学 I	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育に携わる上で必要な、心理学の知識を習得する。 ・ 人の発達過程について学び、子どもへの理解を深める。 ・ 人の発達は、他者との関わりの中で展開していくことを具体的に理解する。 ・ 生涯発達の観点から、初期経験の重要性について理解し、保育との関連を考察する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育と心理学 3. 子どもの発達の理解(1) 4. 子どもの発達の理解(2) 5. レポート指導(1) 6. レポート指導(2) 7. 人との相互的関わりと子どもの発達(1) 8. 人との相互的関わりと子どもの発達(2) 9. レポート指導(3) 10. 生涯発達と初期経験の重要性(1) 11. 生涯発達と初期経験の重要性(2) 12. レポート指導(4) 13. レポート指導(5) 14. 試験対策(1) 15. 試験対策(2) 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……併修指定テキスト『たのしく学べる乳幼児の心理 改訂版』福村出版 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育の心理学 II	講 師	稲川 健太郎
授業目標	子どもの生活や遊びの中で育つ心の発達について事例検討等を行い、実践的に学ぶ。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践における心理学 2. 子ども理解における発達の把握 3. 個人差や発達過程に応じた保育 4. 子どもの育ちと環境 1) 物的環境 5. 子どもの育ちと環境 2) 人的環境 6. 子どもの育ちと環境 3) 相互作用 7. 子どもの生活と心理学 8. 遊びの発達と理解 9. 子どもの遊びと学び 10. 子どもの生活の中の学び 11. 子育て支援と心理学 12. 子どもの発達を支える保育者の専門性 13. まとめ① 14. まとめ② 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……浜崎他（編）『やさしく学ぶ保育の心理学 I、II』ナカニシヤ出版 参考書 ……井戸（編）『保育の心理学 II』萌文書林		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、レポート、試験による総合評価		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	島村 恵子
授業目標	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。		
授 業 の 画	1. 子どもの心身の健康と食生活について 2. 子どもの食生活の現状と課題 3. 栄養素について、働きと疾病との関係、含有食品など 炭水化物 4. 〃 脂質 5. 〃 たんぱく質 6. 〃 ビタミン 7. 〃 無機質 8. 日本人の食事摂取基準、食品群について 9. 乳汁期の栄養と食生活 10. 離乳期の栄養と食生活 11. 幼児期の栄養と食生活 12. 幼児期の食生活上の問題 13. 施設における食生活、特別な配慮を要する子どもの栄養と食生活 14. 食育の基本と内容 15. まとめ・試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版部 参考書 ……その時々参考になるものを紹介		
評 価 の 方 法	出席、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針を基に保育全般を知る。 ・ 子どもの生活全体を通し、養護と教育が一体的に展開していくことを学ぶ。 ・ 多様化する社会情勢の中での保育所の在り方、役割を知る。 ・ 身近に起きている虐待を考える。 ・ 手遊び、絵本、読み聞かせ等々実技を学ぶ。 ・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。 		
授 業 の 画	1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 保育所指針にふれる「保育所」「幼稚園」 3. 保育所指針から① 4. 保育所指針から② 5. } 6. } 子どもの発達 7. } 8. } 9. } 10. } 11. 発達発表 12. 子どもになって体験しよう 13. 虐待の現状 14. 地域の子育て支援 15. テスト		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』チャイルド社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	国友 真知子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基本的な構成要素を理解する。 ・楽譜の読み方とピアノ演奏の基礎を学ぶ。 ・簡単な演奏・合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音の高さについて 2. 音の長さについて 3. 拍子・リズムについて 4. ピアノ演奏の基礎① 5. 調性について① 6. 調性について② 7. ピアノ演奏の基礎② 8. 和音について① 9. 和音について② 10. 子どもの歌の伴奏① 11. 子どもの歌の伴奏② 12. 音楽用語と記号 13. 合奏・合唱 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 適宜プリントを配布 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	上田 亜津子・浦 啓子 国友 真知子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニックを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. 〃 ：拍子記号・リピート記号 4. 〃 ：異なる左右の指の動き 5. 〃 ：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. 〃 ：タイの奏法 7. 〃 ：8分音符の導入 8. 〃 ：8分音符の導入 9. 〃 ：付点4分音符・8分音符の奏法 10. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 11. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 12. 〃 ：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. 〃 ：ハ長調の弾き歌い演習 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの造形活動について理解し、その基本的知識を学ぶ。 ・絵画的造形製作の意義とその目標について理解する。 ・画材と題材について学習し、その技術を習得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における造形表現の意味、造形表現の基礎知識（色彩、画材などの基本知識） 2. 鉛筆デッサン基礎、明度のグラデーションから立体表現 3. 造形表現の発達論と立体表現 4. クレヨン画基礎 5. ひっかき絵（スクラッチ）、はじき絵 6. クレヨンでポスターを作る 7. デカルコマニー、絵の具の軌跡（偶然からできる作品で遊ぶ） 8. しわくちのクラフト紙に水彩絵の具で絵を描こう（紙で遊び、触感などを楽しむ） 9. 絵肌作りからコラージュへ（準備と創作） 10. 子どもの描画の特徴とその背景 11. 見立て（意味づけ）あそび（単純な形を組み合わせる想像力を身につける） 12. しゃぼん玉で作る水玉模様 13. 野菜でスタンプ（野菜の切り口など、形の面白いものを見つけてスタンプあそび） 14. 点・線を使って描いたものから、何かを見つけて絵に仕上げよう 15. 色水あそび（色水を作って光をあてて色の光りあそび） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育をひらく造形表現』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	教育課程総論	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所および幼稚園での保育・教育課程を理解し、自分の言葉で説明できる。 ・保育・教育課程の歴史の変遷を学び、現代の保育・教育を多角的に捉えられる。 ・保育の計画と展開を学ぶ中で、保育者の役割を考えられる。 ・レポートとは何かを理解し、レポートを作成するうえでのルールを身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、保育施設とは 2. 幼児の教育課程 3. 教育課程・保育課程と指導計画 4. 保育の展開と保育者の役割 5. 保育内容とカリキュラムの変遷①明治期～昭和前期 6. 保育内容とカリキュラムの変遷②戦後～現代 7. これからの保育・教育課程、レポート出題 8. 中間まとめ 9. 保育内容と指導計画の実際 10. 指導計画を書いてみよう①長期計画 11. 指導計画を書いてみよう②短期計画 12. レポート指導 13. 保育の評価 14. まとめ・試験対策 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……生田貞子／水田聖一編（2010）『保育実践を支える保育内容総論』福村出版 参考書 ……厚生労働省（2008）『保育所保育指針解説書』フレーベル館 文部科学省（2008）『幼稚園教育要領解説』フレーベル館		
評 価 の 方 法	出席（リアクションペーパー）、芸大提出レポート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	上田 亜津子・浦 啓子 国友 真知子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』（但し2年生でピアノⅡを受講する学生は1年次で購入した教本でよい）、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	目黒 祥元
授業目標	<p>クレヨン、粘土、水彩絵具などの基本的な素材を使った実習を通じて、保育表現技術についての理解を深める。実習は、幼児造形の枠に捕らわれずに行い、技術力と柔軟な発想を養いたい。</p> <p>※はさみ、鉛筆（B～3B程度）を持参して下さい。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形課題の制作（課題は当日発表します。作品は提出） 2. 〃 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定しないが、幼児造形の枠を越えて美術全般の理解を深めてほしい。		
評 価 の 方 法	課題作品の提出、出席状況、実習への取り組み方による総合評価		

科 目	実習基礎技能Ⅰ	講 師	東郷 結香（・阿久津 撰）
授業目標	<p>保育現場で求められる「現場実践基礎力」を身につけることを目標とする。実際に保育現場に行き活動するなかで、保育士の基礎となる考え方や行動を身につけていく。学校でのオリエンテーションを経て、実際に保育現場で活動し、翌週は学校で授業を受ける形をとる。「現場実践基礎力」が一定程度身についた者は、夏休み中や放課後に保育所で活動することに報酬が支払われる可能性もある。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校において「保育現場での活動」に関するオリエンテーション 2. 保育所において「保育現場での活動」に関するオリエンテーション 3. 学校においてふりかえり・講義 4. 保育所において「保育現場での活動」 5. 学校においてふりかえり・講義 6. 保育所において「保育現場での活動」 7. 学校においてふりかえり・講義 8. 保育所において「保育現場での活動」 9. 学校においてふりかえり・講義 10. 保育所において「保育現場での活動」 11. 学校においてふりかえり・講義 12. 保育所において「保育現場での活動」 13. 学校においてふりかえり・講義 14. 保育所において「保育現場での活動」 15. 学校においてまとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出欠席と「到達目標レベル表」での達成度評価		

科 目	実習基礎技能Ⅱ	講 師	東郷 結香（・阿久津 撰）
授業目標	<p>保育現場で求められる「現場実践基礎力」を身につけることを目標とする。実際に保育現場に行き活動するなかで、保育士の基礎となる考え方や行動を身につけていく。学校でのオリエンテーションを経て、実際に保育現場で活動し、翌週は学校で授業を受ける形をとる。「現場実践基礎力」が一定程度身についた者は、春休み中や放課後に保育所で活動することに報酬が支払われる可能性もある。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校において「保育現場での活動」に関するオリエンテーション① 2. 学校において「保育現場での活動」に関するオリエンテーション② 3. 学校において「保育現場での活動」に関するオリエンテーション③ 4. 保育所において「保育現場での活動」 5. 学校においてふりかえり・講義 6. 保育所において「保育現場での活動」 7. 学校においてふりかえり・講義 8. 保育所において「保育現場での活動」 9. 学校においてふりかえり・講義 10. 保育所において「保育現場での活動」 11. 学校においてふりかえり・講義 12. 保育所において「保育現場での活動」 13. 学校においてふりかえり・講義 14. 保育所において「保育現場での活動」 15. 学校においてまとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出欠席と「到達目標レベル表」での達成度評価		

科 目	キャリアデザインⅠ	講 師	菊池 一英
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分らしい生き方」(キャリア)を探し出します。 ・諸先輩方のキャリアを学びます。 ・実習就職というキャリアについて学びます。 ・夏休みのキャリアアップについて学びます。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアデザインとは 2. 実習・就職計画ガイダンス 3. ボランティア、アルバイト、資格、公務員テスト証明写真について 4. 実習というキャリア 5. 実習の実際について①(保育所) 6. 実習の実際について②(施設) 7. 実習実技① 8. 実習実技② 9. キャリアをめぐる(先輩のキャリアを学びます) 10. 保育現場から学ぶ(ビデオ学習) 11. 就職というキャリアa(マナー研修) 12. 就職というキャリアb(自己紹介他) 13. 就職というキャリアc(入退出他) 14. 履歴書について 15. 前期を振り返って(作文) 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	国語	講 師	原 善
授業目標	併修レポート作成に備えるべく、論理的な文章表現力の基礎を身につけてもらうことと、日本の児童文学の諸問題についての知識を確かなものとするを第一の目的にしながら、幼児の言葉の獲得を援助しようとする者として、自身が運用する言葉に対する確かな認識を育ててもらいたい。さらには、卒業後に良き社会人となるためのキャリア開発の支援としても位置づけたいと考えている。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・レポートの書き方(1) 2. レポートの書き方(2)引用の仕方 3. 言葉の力 4. 話し言葉と書き言葉の違い 5. オノマトペの功罪 6. 現代児童文学の成立 7. 絵本と幼年童話 8. 戦争児童文学 9. 児童文学とジェンダー 10. 巖谷小波と小川未明 11. 宮沢賢治と新美南吉 12. 椋鳩十と佐藤さとる 13. 金子みすゞと谷川俊太郎 14. 比喩的発想法について 15. 論理的な文章のために 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……併修テキスト『アプローチ児童文学』翰林書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	レポート、毎回の課題提出、授業への参加度		

科 目	クラスルーム／併修学習 I a (前期) I b (後期)	講 師	安部 高太郎		
授業目標	<p>クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養い、高める。 幼稚園教諭免許状取得に向けて、併修学習を促進する。</p>				
授 業 の 画 計	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> (前期) 1. オリエンテーション 2. レポート学習ガイダンス 3. ボランティア・サークルのガイダンス 4. クラス活動の企画 5. クラス活動① 6. クラス活動② 7. クラス活動③ 8. クラス活動④ 9. クラス活動⑤ 10. クラス活動⑥ 11. レポート学習① 12. レポート学習② 13. 学校行事のガイダンス 14. 学校行事の企画① 15. 夏期休暇の過ごし方・振り返り </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> (後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画② 3. 学校行事の企画③ 4. 学校行事の企画④ 5. 学校行事の準備① 6. 学校行事の準備② 7. 学校行事の準備③ 8. 学校行事の準備④ 9. 振り返り・レポート学習 10. レポート学習・試験対策① 11. レポート学習・試験対策② 12. レポート学習・試験対策③ 13. レポート学習・試験対策④ 14. レポート学習・試験対策⑤ 15. 振り返り・ディスカッション </td> </tr> </table>			(前期) 1. オリエンテーション 2. レポート学習ガイダンス 3. ボランティア・サークルのガイダンス 4. クラス活動の企画 5. クラス活動① 6. クラス活動② 7. クラス活動③ 8. クラス活動④ 9. クラス活動⑤ 10. クラス活動⑥ 11. レポート学習① 12. レポート学習② 13. 学校行事のガイダンス 14. 学校行事の企画① 15. 夏期休暇の過ごし方・振り返り	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画② 3. 学校行事の企画③ 4. 学校行事の企画④ 5. 学校行事の準備① 6. 学校行事の準備② 7. 学校行事の準備③ 8. 学校行事の準備④ 9. 振り返り・レポート学習 10. レポート学習・試験対策① 11. レポート学習・試験対策② 12. レポート学習・試験対策③ 13. レポート学習・試験対策④ 14. レポート学習・試験対策⑤ 15. 振り返り・ディスカッション
(前期) 1. オリエンテーション 2. レポート学習ガイダンス 3. ボランティア・サークルのガイダンス 4. クラス活動の企画 5. クラス活動① 6. クラス活動② 7. クラス活動③ 8. クラス活動④ 9. クラス活動⑤ 10. クラス活動⑥ 11. レポート学習① 12. レポート学習② 13. 学校行事のガイダンス 14. 学校行事の企画① 15. 夏期休暇の過ごし方・振り返り	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画② 3. 学校行事の企画③ 4. 学校行事の企画④ 5. 学校行事の準備① 6. 学校行事の準備② 7. 学校行事の準備③ 8. 学校行事の準備④ 9. 振り返り・レポート学習 10. レポート学習・試験対策① 11. レポート学習・試験対策② 12. レポート学習・試験対策③ 13. レポート学習・試験対策④ 14. レポート学習・試験対策⑤ 15. 振り返り・ディスカッション				
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>				
評 価 の 方 法	<p>出席状況による評価</p>				